

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2025年5月

事業所名 ちあふるスクール宮之阪

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パソコンを活用することも多く、少し狭く感じることもあるかと思いますがお子様の活動に合わせて机を移動したり、空きスペースを使用して軽い運動などの活動ができるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準よりも多く配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートでいただいたご意見を参考に改善点について共有しています。その他、個別支援計画の更新相談や送迎時、メールや電話でもご意見をお聞きし職員間で共有後対応方法について話しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケートでいただいたご意見を参考に事業所内で共有し改善点について話し合っています。結果内容につきましてはホームページ上で公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の課題としております。どのような形で外部評価を行うか会社内で検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		運転者講習等の研修を定期的にうけております。	必要に応じて研修に参加しておりますが、スキルアップや学びの機会として外部研修の参加に取り組んでいきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントシートを使用し保護者様やお子様の意見を聞いて計画をたてています。アセスメントシートを改善し、よりニーズが把握できるものにしていきます。職員間でもお子様の様子について共有し課題の分析を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者様から病院や発達支援センターでの検査結果をいただきアセスメントツールとして使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日職員間で情報共有する時間を設けており、お子様に合わせた活動プログラムの立案をしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		継続中の取り組みを除き、お子様の様子やニーズに合わせて個別にプログラムを考え、固定化にならないようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日と長期休暇でご利用時間も変更になるため利用時間に合わせた課題を提案しています。長期休暇にはレクリエーションや発表の時間を平日以上に設けるようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		プログラミング以外にもお子様それぞれの課題に合わせて、少人数でのレクリエーションやボードゲームなども取り入れグループ活動も行っていきます。制作物の発表をする際には、お子さんたちで見て意見交換をすることもあります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝情報共有をする時間を設け、支援の内容・分担・準備をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援後には小さな出来事でも情報共有し、必要に応じて保護者様に報告をしています。お子様の支援に対してもっとこうの方がいいのではないかと日々話し合っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		お子様の様子を記録するために専用ツールを使用し記録して、検証改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		支援計画作成後、3か月・6か月と定期的にモニタリングを行っています。また、毎日の情報共有の際にお子様の課題への到達状況や見直しの必要性についても話し合っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		セルフプランのご家庭も多くサービス担当者会議が行われることが少ない状況ですが、児童発達支援管理責任者を中心として日々対応しています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様を通じて情報共有や確認を行っていますが、必要に応じて直接学校や園に連絡を行い確認しています。		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者様を通じて情報共有をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		まだ移行されたお子様はいませんが、移行されるお子様がいる際には情報共有・提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	研修は受けていませんが、モニタリングの際に発達支援センターとは情報共有をしています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ほとんどのお子様が地域の学校に通われていることもあり機会を設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		数年間行われていないときもあることや招集された者しか参加できないこともあり参加していません。今後どうするか会社内で検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別支援計画更新の際にお子様の課題について共有しています。活動中に普段と違う様子などがあつた際にはご利用いただいた日に保護者様にお伝えしています。ご利用日以外にもお子様のご様子に合わせてメールや電話で状況を共有しています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個別支援計画の更新の際や送迎時、電話やメールでご相談いただいたときなど、ご様子に合わせて助言をさせていただいています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。その他、質問があつた際などにお伝えしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別支援計画の更新の際や、電話やメールでご相談いただいたときには迅速に対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今までは必要ないと言われる保護者様も多く開催していませんが、必要に応じて検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があれば迅速に対応しています。また、契約時に市に設置されている窓口についても説明しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ上に活動の様子を公開しています。また、HUGを通してお子様の個別でのご様子を公開しています。	
35	個人情報に十分注意している	○			お子様の様子を撮る際に利用している端末が職員の携帯となっているため、社用携帯を使用するなど、個人情報について管理を強化することを今後の課題としております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在は地域の方に参加していただけるイベントなどを実施していません。今後の課題として検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画に基づいて定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年間計画に基づいて実施しております。途中入社職員に入社後すぐの案内ができていないこともあるため、入社後すぐに研修の機会を設けるなど周知の方法を検討します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時などに保護者様に確認を行い、お子様に合わせた対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内でヒヤリハットがあった際には報告書を作成し、事業所内で共有後に書類を保管しています。	